

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	下水道河川課長	加藤 隆志
都整-23	雨水施設維持管理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	下水道河川課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川	施策の方針	河川の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。
効果	雨水調整池について、良好な状態を保持する。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

雨水調整池の良好な状態を保持するため、雨水調整池浚渫業務委託等7件を実施した。 河川の溢水を監視するための河川等監視カメラを3箇所設置した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	雨水施設維持管理事業	維持修繕、浚渫等	浚渫等実施件数	7 / 10	10	10	70.0%
				19,188 / 27,286		33,458	
02	河川監視カメラ設置事業	河川等監視カメラ設置	カメラ設置箇所数	3 / 3	3	0	100.0%
				5,382 / 6,321		5,160	
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源 内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	24,570 / 33,607		38,618	
			事業費の合計(千円)	24,570 / 33,607		38,618	
		人件費(千円)		8,896	9,093		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.3	1.0	1.0	1.0		
会計年度任用職員	0.0	1.0	1.0	1.0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	雨水施設維持管理事業	浸水被害の軽減するため、浚渫、除草、枝払い等を定期的実施することに努めたが、当該業務外の緊急に行なわなければならない業務等を優先的に行ったことで目標達成に至らなかった。	浚渫や除草を実施することで、浸水対策の推進することに寄与する。	調整池は全25箇所(ポンプ排除式を除く)にあり、随時、土砂の堆積状況を把握し、定期的に浚渫を行っていく必要がある。
02	河川監視カメラ設置事業	河川の水位を監視することで、溢水の危険性を事前に把握することが可能になり、市民等の安全が守れることから、カメラを3台設置した。	河川の水位を監視することで、市民等の避難情報に活用することが可能となるので、市民の安全・安心を確保することに寄与する。	予定されていたカメラの台数(5台)の設置は満たされたことから、今後は、システムの運用において不備等を検証し、今後の契約・更新の参考とする。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない 協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善・変更 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
調整池の浚渫等、維持管理のニーズは増えているので、計画的に対応していく必要がある。	

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	浚渫等実施件数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
浸水被害の軽減するため、浚渫、除草、枝払いを定期的実施する必要があることから、浚渫等の実施件数を指標とした。	目標値	2	3	10	10			
	実績値	2	3	7				
	達成率	66.7%	100.0%	70.0%				

指標(単位)	カメラ設置箇所数						単位	箇所
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
河川の水位を監視することで、溢水の危険性を事前に把握することが可能になり、市民等の安全が守れることから、カメラの設置箇所数を指標とした。	目標値	1.0	1.0	3.0	0.0			
	実績値	1.0	1.0	3.0				
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%				

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--